

神保原駅北 町民ワークショップ通信

神保原町地区 駅北まちづくり事業

第3号

発行者：上里町

事務局：上里町役場 まちづくり推進課 都市整備係

TEL : 0495-71-6511

いただいたご意見は
今後のまちづくりに
活かしていきます！



各回の検討内容

各回については、以下の内容をテーマに実施しました。

※開催終了

第1回 駅北を歩こう！

4月10日(日)9:00~12:00
21名参加

現地を歩き、今の駅北を確認します。
そのうえで、「良い所」、「気になる所」
について共有しました。



※開催終了

第2回 駅北を話そう！

5月15日(日)10:00~12:00
26名参加

駅北でどのように過ごし、どのように
暮らしたいか話し合いました。



今回

第3回 駅北を描こう！

5月29日(日)10:00~12:00
26名参加

第2回で話し合った結果をもとに、駅
北の将来像や、やりたいこと・できそう
なことについて話し合いました。



第3回町民ワークショップの検討ステップ

STEP1 : 前回考えたテーマ・対象者・しかけについて、各班でおさらいする

STEP2 : どの場所にあったら良いか、考える

ポイント

【テーマ】
歩きたくなる
まちづくり

【対象者】
まずは、町民・駅周辺居
住者をターゲットにする

【しかけ】
まちの良い所を
活かしていく

STEP3 : やりたいこと・できそうなことについて考える

各班の検討結果(概要)

駅北の将来像の実現に向け、各班ごとにまちづくりのテーマや、賑わいやゆとりを感じることができる魅力あるまちづくりに必要な「しかけ」、今からできそうなことなどについて検討しました。

各班の意見の取りまとめは、ワークシートや図面に付箋を貼って整理していきました。その結果概要を、以下に示します。

A 班

まちづくりのテーマ

まち全体が公園として楽しめる街

まち全体を「公園」と捉え、楽しめるような循環を生み出すためのしかけとして、お店や緑地を分散させて配置し、さらなる好循環を生み出すため、イベントや写真展の実施を発案しました。

誰を対象に？

◆様々な世代の町内に住んでいる人

◆高齢者の方

どんな仕掛けが必要？

大型商業施設跡地の
利活用

- 公園
- 病院
- イベントの開催
- 学童クラブや塾など

歴史を活かす

- 街路樹を桑の木にする
- 織物体験ができる場所にする

上里を知る

- 地域毎の風景などの写真展示
できる場所づくり
→空き家を活用し、写真展を開催
する 等

駅北の良い所の活用

- 川の活用 桜やツツジを植える
- 安盛寺と一体的に活用

好循環を生み出す

- 店舗や緑地の分散配置
- 地域コミュニティについて
意見が聞ける場所
- 空き家を活用したスモ
ールオフィス

まちを公園として
楽しめるように

- 実のなる木を植える



B 班

まちづくりのテーマ

今住む町民が住みやすく、過去を伝承し、町外の人にも興味を持てる街

町民の方々に満足していただくためには「まちの魅力を知ってもらう」ことが必要と考え、今あるお店や歴史を知ってもらい、歩いて楽しめるしかけとして、マルシェやイベントの実施を発案しました。また、「まちの魅力を増やす」ことも必要と考え、公園・緑地の整備などを発案しました。

誰を対象に？

◆町内に住んでいる人

◆現在駅周辺に住んでいる人

◆子供から大人までの全世代の方

どんな仕掛けが必要？

大型商業施設跡地の
利活用

- 複合施設
- 活気のある施設

にぎわいを取り戻す

- 空き家の有効活用(チャレンジシ
ョップ)

資源を活かす・繋ぐ

- 公園を設置し、親水
広場とリンクさせる
- マルシェやイベント
の開催
(地域の歴史やお店
をテーマに)

今ある商店を活かす

- 歩いて発見、食べ歩き

駅前空間の活用

- 駅前駐車場の有効活用



各班の検討結果(概要)

C 班

まちづくりのテーマ

毎日行きたい、生活の一部となる場所『こむぎっちプラザ』

毎日(平日・休日含め)行きたくなるような場所とするためのしかけとして、日用品を取り扱うマルシェやスポーツができる広場の整備を提案しました。また、来訪者の受け皿として、駐車場の立地や駅機能の改善を提案しました。

誰を対象に？

- ◆町内に住んでいる人
- ◆町外から訪れる人
- ◆家族
- ◆駅の南側に住んでいる人

どんなしかけが必要？

大型商業施設跡地を目的地となる場所に

- 上里町にしかない場所づくり
- イベントができる場所づくり
- 学習スペースの整備

駅近を楽しく

- 駅近でマルシェの開催→沿道を含めて活性化

賑わいを保つ

- 喫茶店等、商いが成立できる場所に

まちを楽しく

- 樹木や花が楽しめ、スポーツができる公園や、川遊びができる場所に

交通環境の改善

- 道路をつなげる
- 駅南北を行き来しやすくする(駅機能の改善)
- 駐車場の立地

目的地

人の流れを生み出す



D 班

まちづくりのテーマ

交流が生まれるまち×くつろぎを感じるまち

交流を生み出すためのしかけとして、休憩やワークショップができる広い公園や、町の木々や花を道路沿いに植えることでくつろげる空間の整備などを提案しました。また、街灯をカラフルにするなど、見映えを意識した提案もありました。

誰を対象に？

- ◆上里町に住んでいる人
- ◆高齢者の方や、体の不自由な方
- ◆子育て家族(親子)
- ◆他の地域や他の県から訪れる人
- ◆駅を毎日利用している学生・社会人

どんなしかけが必要？

交流が生まれ、くつろぎを感じる空間に

- おしゃれなお店(カフェや雑貨店等)
- カフェと図書館が融合したような施設
- 広い公園(休憩・ワークショップができる場所)

駅前空間が便利で賑わう

- 日常利用できる場所(スーパーやコンビニエンスストア)
- イベント(祭り)

まちなかをおしゃれに！

- 町の木々、花を道路沿いに植える
- 街灯をカラフルにして、来る人の目を引く
- ベンチの設置(アートベンチの様に、町のキャラクターや花をモチーフに描く)

人々の動線

交通環境の改善

- バリアフリー化(広場や駅の改善等)



E 班

まちづくりのテーマ

みんなが利用したくなる、歩きたくなる場所 ~ゆったり・のんびり、わくわく、安全安心~

駅周辺の良い所(落ち着いた雰囲気、お寺・御陣場川などの資源)を活かした空間づくりや町の魅力発信をしていくためのしかけとして、歴史を活かしたカフェなどの立地について提案しました。また、「まちづくりについて話し合う場を継続していきたい」という意見もありました。

誰を対象に？

- ◆町内に住んでいる人
- ◆若い人たち
- ◆交通弱者や障がいのある方
- ◆駅周辺に住んでいる人
- ◆幼い子供や、学生、高齢者の方
- ◆歩行者

どんなしかけが必要？

大型商業施設跡地の利活用

- 町民の個性や特技を活かし、交流を生み出す施設
- マンション
- 訪問看護ステーション

沿道の利活用

- 歴史を活かしたカフェ等
- キッチンカーやマルシェを開催し楽しいまちにする

まちを歩く

- 上里町の過ごし方マップをつくる
- 健康アプリを活用し、まちを歩かせる
- スマート街路灯の整備

上里町の資源をつなぐ・活かす

- 駅の入口や駅ナカにデジタルサイネージの設置→毘沙土の歴史や、鯉のいる御陣場川、ホテルの里などを情報発信する

御陣場川沿岸の利活用

- バーベキュー場の整備

交通環境の改善

- 駅南北の行き来をしやすくする

人の流れを増やす



各班の意見の共通点

【まちづくりのテーマ】

・賑わい創出に向けて、歩いて楽しめるまちづくりが必要

【誰を対象に？】

・駅周辺に住んでいる人や、上里町民をターゲットに、満足してもらうことが必要

【どんなしかけが必要？】

・まちの良い所(まちなかの緑・水資源や製糸工場などの誇れる歴史)を活かしたまちづくりが必要

【しかけの場所は？】

・大型商業施設跡地等に目的地となる場所をつくり、賑わいを創出することが必要

【今からでも何ができる？】

・マルシェやお祭りなどのイベントの開催によるソフトの取り組みを検討

今後の検討について

町民ワークショップでの検討結果を踏まえ、まちづくり基本計画に反映していきます。

